



講師 中川 純子 様

の中川純子様、「男だから」「女だから」を超える性別の固定観念を見つめ直す、の講演を拝聴しました。中川様は、奈良県出身で福岡に居住されて8年目になります。

また、講義前に、人権・生涯学習について、石橋久嗣係長よりお話がありました。



石橋 久嗣 係長

令和7年7月17日(木)三宅公民館講堂で人尊協運営委員研修会が行われました。50名程の運営委員が、熱心に講師の話に聴き入っていました。

「男だから・女だからを超える性別の固定観念を見つめなおす」

講師 中川 純子 様
(男女共同参画推進サポーター)

人権尊重推進協議会 ～委員研修会～



研修会の様子

今回の講演で感じたことは、男女が対等な立場で社会のあらゆる分野に参画し、その能力を十分に発揮できる社会を作らなければ、人類の未来はないということです。第二次世界大戦後まもなく、1948年12月10日、国連総会で世界人権宣言が採択されました。その第一条に「すべての人間は、生まれながら自由で、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心を授けられており、同胞の精神をもって互いに行動しなくてはならない」とあります。

令和6年9月男女共同参画に関する世論調査で男女の地位が平等になっていると思うかと聞いたところ政治の場は、約9%となっています。日本の国会議員における女性比率は衆議院約10%で世界186ヶ国中164位です。(2023年)

男女平等の「優等生」として知られるスウェーデン。男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数」世界5位を維持しています。290の市議会、女性議員の比率は43%。50%以上の市議会も37あります。女性の比率が55%のバルムド市で昨年の市議会に女性議員が5ヶ月の赤ちゃんを連れてきました。議場では、彼女が質問をする間は、議員たちが交代で抱っこしていたという。スウェーデンも昔から乳幼児を連れて議場に入れたわけではなく、20年前にさんざん議論になり法的に検討した結果問題ないということになりました。

古来より、多くの社会で肉体労働や戦争は男性の役割、出産・育児は女性の役割とされてきました。これが「男は外で働き、女性は家を守る」という考え方につながっています。女性はもともと平和主義者です。これからは、有能な女性の方々が社会進出をされますようお願いいたします。

研修部会 小宮満希雄

南区人権講座

【第2回】6月23日(月)セミナー+交流カフェ

「30秒動画をつくって、人権について発信しよう！」

講師 人権擁護委員 笠原嘉治 様

「差別のない社会をめざして 今私たちにできること」をテーマに、7名～8名のグループに分かれて、人権問題に対する個人メッセージを考えてみました。

私のグループは、1.みんな笑顔でともだち、2.みんな違ってみんないいそれが世界の良いところ、3.みんな仲間という気持ちで、4.個性を認め合いまよう、5.やさしい言葉・やさしい笑顔、6.目と目で話せる? ゆっくりでいいよ、7.相手の気持ちを想像しよう、8.思い込みをなくしましよう。と一人一人のメッセージが決まりました。一人ずつメッセージの思いを発表し、みんなで共有し意見交換を行った後、撮影場所やポーズを決めて撮影し動画の編集を行いました。

今までの人権講座の形は講師(話し手)の話を聞く一方通行である事が多かったと思いますが、今回の交流カフェは、個人メッセージを交流し、意見交換し、自分の言葉で皆さんに発信していくやり方が、大変楽しく有意義に勉強する事が出来ました。とても楽しい時間でした。

【第1回】6月14日(土)映画上映

「夢見る小学校 完結編」

テストがない、通知表がない、先生がいない『夢みる小学校』。そこで成長していく子どもたちの姿を映した映画です。『子どもたちにもっと自由を! 学校に、もっとわくわくを!』という気持ちで、子どもたちの幸福を考えた「子どもの村学園」に長期取材したドキュメンタリー映画『夢みる小学校』に、中学生パートを追加撮影した『夢みる小学校・完結編』の映画上映でした。

【第3回】7月4日(金)講演

「疑似体験を通して知ろう～知的障がいや発達障がいについて」

今回の講師、下山さんは重度の知的障がいと発達障がいへの理解促進をされています。講演では「走らないで」ではなく、「ゆっくり歩いね」と伝える、1つずつゆっくり伝える、前からは障がいの有無に関わらず、具体的な接し方を学びました。これからは障がいの有無に関わらず、誰もが持つ個性を理解し、助け合うことの重要性を示唆するものでした。交流カフェでは、多様な視点からの意見交換ができ、理解を深める貴重な機会となりました。